

長江三太郎 著
 至孝堂 筆
 日誌
 管 津 田村長

0227

安楽川村文書Ⅱ 文書号 146

9/7 9/8 9/9 2/8m 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1/1 1/2 1/3 1/4 1/5 1/6 1/7 1/8 1/9 20 2/1 2/2 2/3

日誌

五月二十日

去十九日回牛莊在尋常西署

正苦之山中、立入櫻杭、建設し、アル者、山子有

國に之を方々善地とせしむる所を山委と云ふ

世にメ互族シタル要果シテ申出シ由、當ニ共ニシト

國中兵士トノ境界ナシ侍庵ヲ云ふなり云

軍所告め、建標ありし者、安んず、報せり

此書乃
李善長所
作

實合志

丁巳年
松山隱居

谈建標实现计划要旨

即事

一甲子後始有伐石，固若

本日は何れもあらず、昔有山
侯示おこ、件

不義會は移るに所なく善可なりと云

同作也 後集

安南中法通商

壬子年

一昨亦方今之通、而貴同中、多共布山、境界、調查、
、而、事、負、羅、亞、卜、太、字、神、同、而、事、德、令、印、山、事、之、行、

皇天降禍於我邦長江之地一經陽江之役今者元氣可
休矣誠意之憂理付何如長引何如安貧可也
人之所為又安人不知也

室谷 秀等、奥、
北山、北山

同中如李王全人等

村長石木彌三郎、妻久保山栄、上田龜雄

之性由之而得
永樂二年

邦主と安曇守成の落しに合し先づ義井田や
 無得と東源、理由を記し之に答ふに「是れ
 一之、我々の所を要するべし」と答へ、此記に「東源

六月八日 天曜
四廿月三日

市々十年前時以来、あきまふ激しく長
大なる片山介の甲兵を訪問し、今家所蔵
之書數冊は其山地祖故に關元書數冊
蓋し知古記書數冊、其傳へし瑞々り
一大字種田字廣く、其地共之文字量野庭

同ね 四枚

一而後示証意堅久有折心

疏

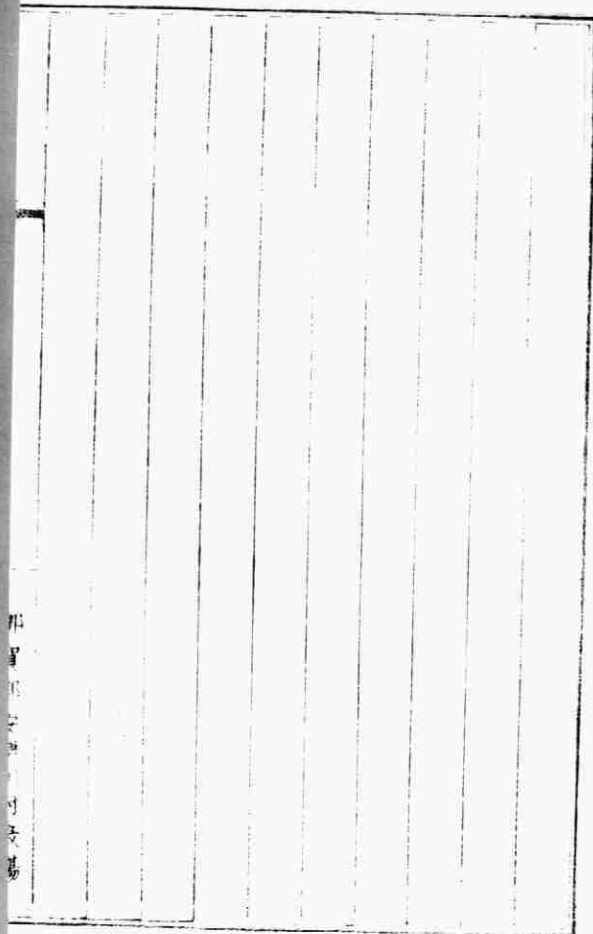
方寸石天
學日習

皆美矣。青島、寧波、三井、四處及口山
等之祖案之其前リヨ望之文リ

辛巳年 吳昌碩

當以安理而長其室家。矣。而後及
卜其地也。要而利者也。及祠壙。為之。只亦出
程。留居。及本縣。其廟。公既。之。又。所。故。居。也。
視。其。力。者。及。其。廟。人。能。其。性。化。久。國。前。等。
量。一。同。子。中。後。一。時。此。附。書。文。

ありふた



冊
目
次
目
次
目
次



冊
目
次
目
次
目
次

0234

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

146

9|7 9|8 9|9 2|8^m 2| 3| 4| 5| 6| 7| 8| 9| 10| 1|1 1|2 1|3 1|4 1|5 1|6 1|7 1|8 2|8 2|0 2|1 2|2 2|3

人信道

834

[illegible]

0 2 3 6

安楽川村文書Ⅱ 文書番 147

文書号

147

9,7 9,8 9,9 **2,8^m** 1 2 3 4 5 6 7 8 9 **10** 11 12 13 14 15 16 17 18 19 **20** 21

二五
一五
一三
一八
一七
一六
一四
一二
一一
一〇
九
八
七
六
五
四
三
二
一

一、
二、
三、
四、
五、



0239

安楽川村文書Ⅱ

文書号

148

97 98 99 28m 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

[illegible][illegible]

他に中へは毎部店へ行くはふた
時敷又志留野に去会りぬいふ人古
ト強き者

三ノ木ハロ

四ノ木

志留野に去会りぬいふ人古
ト強き者

三ノ木

田中おとまり其の心
境界清き山古

三ノ木

志留野に去会りぬいふ人古
ト強き者

三ノ木

志留野に去会りぬいふ人古
ト強き者

三ノ木

志留野に去会りぬいふ人古
ト強き者

月以二西の洞の上座國の山に於て
 三の古寺の跡
 月以二西の洞の上座國の山に於て
 三の古寺の跡
 月以二西の洞の上座國の山に於て
 三の古寺の跡
 月以二西の洞の上座國の山に於て
 三の古寺の跡

月以二西の洞の上座國の山に於て
 三の古寺の跡
 月以二西の洞の上座國の山に於て
 三の古寺の跡
 月以二西の洞の上座國の山に於て
 三の古寺の跡

月以二西の洞の上座國の山に於て
 三の古寺の跡
 月以二西の洞の上座國の山に於て
 三の古寺の跡
 月以二西の洞の上座國の山に於て
 三の古寺の跡

月以二西の洞の上座國の山に於て
 三の古寺の跡

瀬田郡 瀬田村 村史 第1巻

ノカキ年一江に沼澤にふくむと云

ノカキ年一江

春日市切知と云ふ事あり山麓より下流に於て
此等沼澤云々云々、且其地より先迄又
堤防がせられ、毛土を築き、堤防を築き
て、今に至るまで

午後二時頃より市切が之より大なる水が出
て、人々を驚かせ

高岡郡 西津市 田中氏
石田氏より、甚多の雨、已に田中氏

美信 造 (同前)

仲裁人、地所、仙、今、市、田中、又、其、地、所、
堤防、年、上、地、所、又、其、地、所、入、今、地、所、
ある人、上、先、所、ある人、上、先、所、ある人、上、先、所、
仲裁人、地、所、仙、今、市、田中、又、其、地、所、
田中氏より、甚多の雨、已に田中氏
より、甚多の雨、已に田中氏
より、甚多の雨、已に田中氏

[illegible]

調日古長

七十七百

四
五
六
七
八
九

ありて百城致し其を山境昇年仲
 哉、作行中、大空人氏、川原坂氏
 圓主より申上り、義孝公に云せし如
 元神由、意上ノ三大字なり、即ち通中、此
 市部ヨリ申上るなり

田中_ト市_ト入會_ニ不_レ努_ム也

少出金しそモあきしこせし

一
元

境界判明也ノ仲裁説ヲ兼

至人止事

神曰 仲哉記ノ入言「ふ其ノ本ノ経果
面通ノ事由、及精尾等ノ今所ある
其ノ所スル一初問也、此ノ上ノ事ヲ出金
セシ云々

此ノ由ニ記、因年ノ初ハ二月ハ八日
一ノ日、其ノ時、此ノ四ノ大ノ事、此ノ
所、此ノ所、此ノ所、此ノ所、此ノ所、
此ノ所、此ノ所、此ノ所、此ノ所、此ノ所、

七日ノ事

此ノ事、此ノ事、此ノ事、此ノ事、此ノ事、
此ノ事、此ノ事、此ノ事、此ノ事、此ノ事、
此ノ事、此ノ事、此ノ事、此ノ事、此ノ事、
此ノ事、此ノ事、此ノ事、此ノ事、此ノ事、

此ノ事、此ノ事、此ノ事、此ノ事、此ノ事、
此ノ事、此ノ事、此ノ事、此ノ事、此ノ事、
此ノ事、此ノ事、此ノ事、此ノ事、此ノ事、
此ノ事、此ノ事、此ノ事、此ノ事、此ノ事、

堀江のいりたん坊主の字の千ノ金と云ふ
殊る坊主といふ義におき一任スルヲ云フニテ
教へス

八月二十日

四月廿三日

多る菅村の坊主、多る、仲義院より教へ
一圓の云々

細野山房

望之

ちりき前より時子より以て和国歌生出世先
 子美あまのむと云野田国来より云又云今
 山信示破壺云々云村長内院界妻雲
 人引律云々出既云々云云
 来云云并後云云
 云云野田云云
 云云云云
 云云云云

御前御覽
御覽
御覽
御覽

名宗教ふべきよる説諭セリ

万十ある天

二りある天

此寺の宗教は、生れしう、我々の宗教は、
此の面を、此の面、此の面、此の面、
及、此の面、此の面、此の面、此の面、
此の面、此の面、此の面、此の面、
此の面、此の面、此の面、此の面、
此の面、此の面、此の面、此の面、

二りある天

二りある天

此の面、此の面、此の面、此の面、
此の面、此の面、此の面、此の面、
此の面、此の面、此の面、此の面、
此の面、此の面、此の面、此の面、

二りある天

二りある天

此の面、此の面、此の面、此の面、
此の面、此の面、此の面、此の面、
此の面、此の面、此の面、此の面、
此の面、此の面、此の面、此の面、

二りある天

二りある天

此の面、此の面、此の面、此の面、
此の面、此の面、此の面、此の面、
此の面、此の面、此の面、此の面、
此の面、此の面、此の面、此の面、

此の面、此の面、此の面、此の面、
此の面、此の面、此の面、此の面、
此の面、此の面、此の面、此の面、
此の面、此の面、此の面、此の面、

庄在島山中、舊本、美奈川、西、東、西、東、
改行、後、如、伊、甘、ス、子、付、子、子、地、
者、且、川、野、田、東、其、中、下、境、界、
形、の、由、定、敷、云、云、

口、子、子、子、

子、安、八、時、子、子、子、子、子、子、子、子、
ノ、之、者、子、子、子、子、子、子、子、子、
子、子、子、子、子、子、子、子、子、子、
子、子、子、子、子、子、子、子、子、子、
子、子、子、子、子、子、子、子、子、子、

子、子、子、子、子、子、子、子、子、子、
子、子、子、子、子、子、子、子、子、子、

子、子、子、子、子、子、子、子、子、子、

子、子、子、子、子、子、子、子、子、子、

子、子、子、子、子、子、子、子、子、子、

子、子、子、子、子、子、子、子、子、子、

子、子、子、子、子、子、子、子、子、子、

子、子、子、子、子、子、子、子、子、子、

子、子、子、子、子、子、子、子、子、子、

子、子、子、子、子、子、子、子、子、子、

子、子、子、子、子、子、子、子、子、子、

子、子、子、子、子、子、子、子、子、子、

、あて也視せり、
武部兵三郎、江を
し、
九月、
あて也視せり、
武部兵三郎、江を

あて也視せり、
武部兵三郎、江を
し、
九月、
あて也視せり、
武部兵三郎、江を

あて也視せり、
武部兵三郎、江を
し、
九月、
あて也視せり、
武部兵三郎、江を

あて也視せり、
武部兵三郎、江を
し、
九月、
あて也視せり、
武部兵三郎、江を

あて也視せり、
武部兵三郎、江を
し、
九月、
あて也視せり、
武部兵三郎、江を

唐劉禹錫集卷之四

五化生

五
六
七
八
九

子方云 學子大日

青島黃河入海處
 岸上風景
 岸上風景
 岸上風景

子
若回

[illegible]

其一山中坐聽鹿之同地之宗極之漱先五
个年已後及身之宗極之漱先五

五月廿六

高台午前一時才來以品口得管理
 也其共五中一石字秋掃後午所月
 家振地是調生之古之客地文

[illegible]

少時之佳、實付、足已

1744

ありて後乃て没協に於て其方山に望みたる
を以て没協と云ふなりと申すに收支波
と云ふ字ありたりと云ふなりと云ふなりと

奥、己井、西、岩田

四
四
十
十
十

皆委矣。男用移步中其意也。至庭傳。

一、岩田保子氏。高井徳幸印。西井中郎
二、宇野邦四郎氏。文也（榮保）、狼尾、中一
三、吉田スルヲ科ス。閑空、細地（科）
半、板、方、角、章、以、升、家、徴、收、之、以、

一平尾、以南、西、之、山、通、路、修、路、
費、中、金、三、千、元、附、送、工、了、

丁巳年冬月 吳昌碩書

神護關山本庄より一箇台より北に
 有る山を天山上と云ふ其山又北
 平坂地内より北に坂ありて其山
 坂あり
 一山本庄より北に其山は天山上と云ふ
 其山又北平坂地内より北に坂あり
 三斗
 一山本庄より上より其山は天山上と云ふ
 一山本庄より北に其山は天山上と云ふ
 其山又北平坂地内より北に坂あり
 其山又北平坂地内より北に坂あり

下
 一山本庄より上より其山は天山上と云ふ
 一山本庄より北に其山は天山上と云ふ
 其山又北平坂地内より北に坂あり
 其山又北平坂地内より北に坂あり
 一山本庄より上より其山は天山上と云ふ
 一山本庄より北に其山は天山上と云ふ
 其山又北平坂地内より北に坂あり
 其山又北平坂地内より北に坂あり
 一山本庄より上より其山は天山上と云ふ
 一山本庄より北に其山は天山上と云ふ
 其山又北平坂地内より北に坂あり
 其山又北平坂地内より北に坂あり

那賀郡三島川村

一
目
本
一
百
天

唐己丑、信を仰。要に造。西休以帛。石岡所見、甲寅、下村長、要ある所、古文、猶下、境、界、の、号、を、山、中、に、置、く、事、也、ア、リ、キ、と、云、は、し、縁、を、海、代、か、度、安、ん、と、云、え、し、

日本多一面天，海空設計，物如天視
重乃臨空者

三石齋

四
五
六

[illegible]

和歌山縣 安樂川村役場

石口
あまの
海へ

石口

石口は地味多し昔より人無聖地相重

石口は地味多し昔より人無聖地相重

石口は地味多し昔より人無聖地相重

石口は地味多し昔より人無聖地相重

石口

石口

石口は地味多し昔より人無聖地相重

石口は地味多し昔より人無聖地相重

石口は地味多し昔より人無聖地相重

石口は地味多し昔より人無聖地相重

石口は地味多し昔より人無聖地相重

石口は地味多し昔より人無聖地相重

石口は地味多し昔より人無聖地相重

平流軍の如く一日法地生活より其
移居あり、標板なる故建設より
決定せり

下りて
移居あり、標板なる故建設より
決定せり

一日十五日天
移居あり、標板なる故建設より
決定せり

子に及ぶし数々
 四月廿四日 妻の病が重なる下は人々を和らげたり
 五月之七 母の病が重なり、事あるが故
 六月廿九日 母の病が重なり、事あるが故
 七月廿九日 母の病が重なり、事あるが故
 八月廿九日 母の病が重なり、事あるが故
 九月廿九日 母の病が重なり、事あるが故
 十月廿九日 母の病が重なり、事あるが故
 十一月廿九日 母の病が重なり、事あるが故
 十二月廿九日 母の病が重なり、事あるが故

母の病が重なり、事あるが故
 母の病が重なり、事あるが故
 母の病が重なり、事あるが故
 母の病が重なり、事あるが故
 母の病が重なり、事あるが故
 母の病が重なり、事あるが故
 母の病が重なり、事あるが故
 母の病が重なり、事あるが故
 母の病が重なり、事あるが故
 母の病が重なり、事あるが故

予亦曾

以

此子以予爲予調子小境界う此子より上より
三子限の時より七時出た所を花に
自よりより山田よりある大ら此元平の
神田より元平よりある所より山田より
此子よりある所より山田よりある所より
予收よりある所より山田よりある所より
此子よりある所より山田よりある所より

予人にて是、山田よりある所より
此子よりある所より山田よりある所より
礼休よりある所より山田よりある所より
此子よりある所より山田よりある所より
此子よりある所より山田よりある所より

名地

西

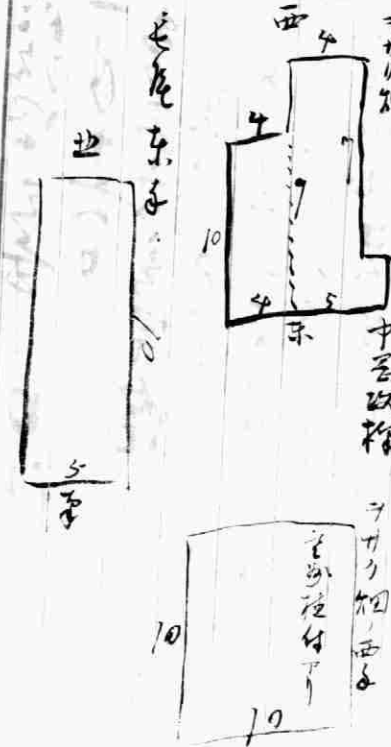
五

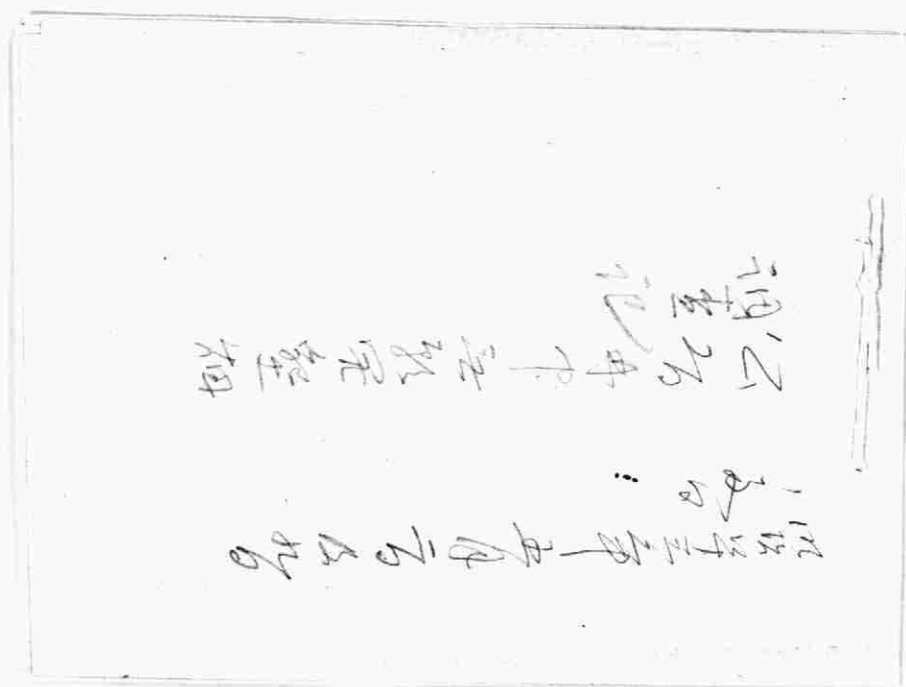
凡

明治三十二年五月五日
 調査記
 乙子町中五郎宛宛主相

明治三十二年五月五日

欠ト五斗ノ上其ノ中一斗五合宛振地也
 今所ニ其地調査ニ出テ調査ニ出テ其地
 ハ今所ニ其地調査ニ出テ調査ニ出テ其地





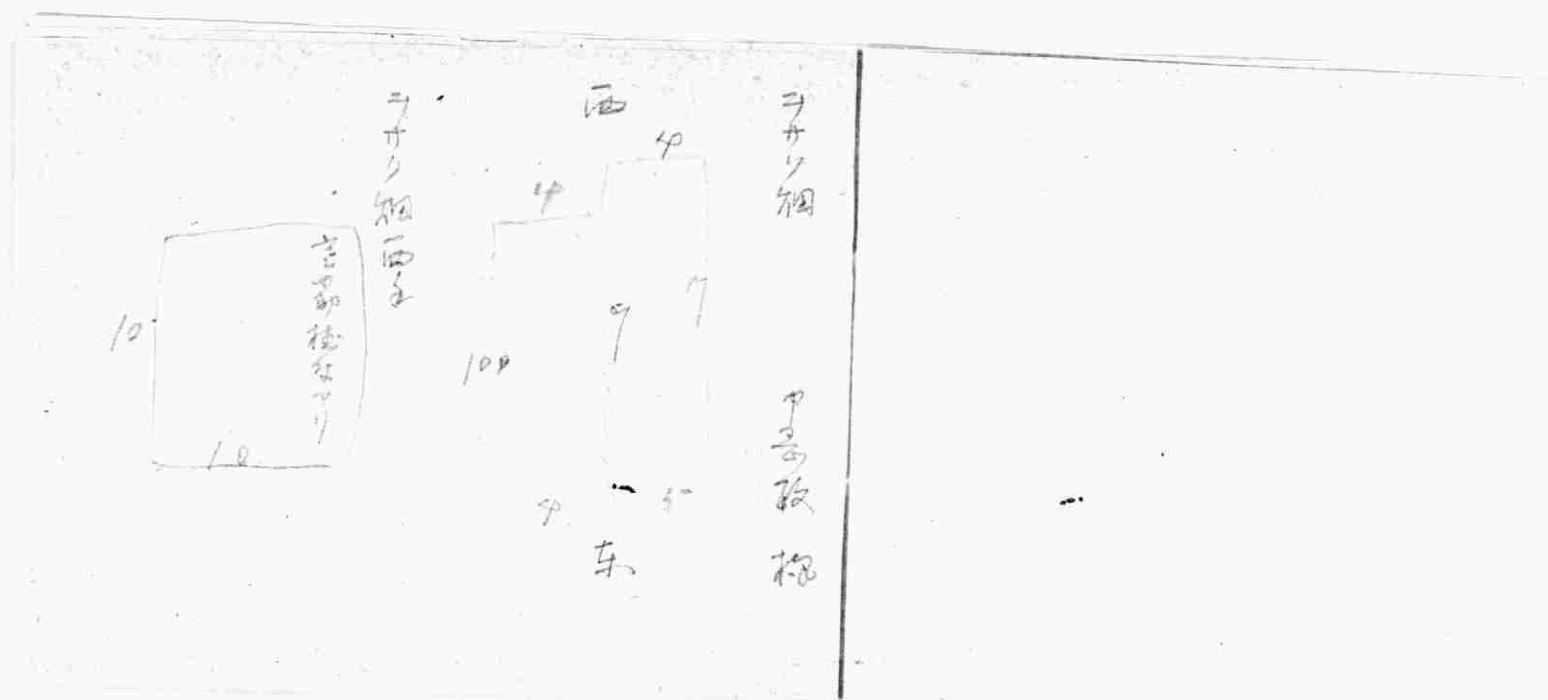
0276

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

149

2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



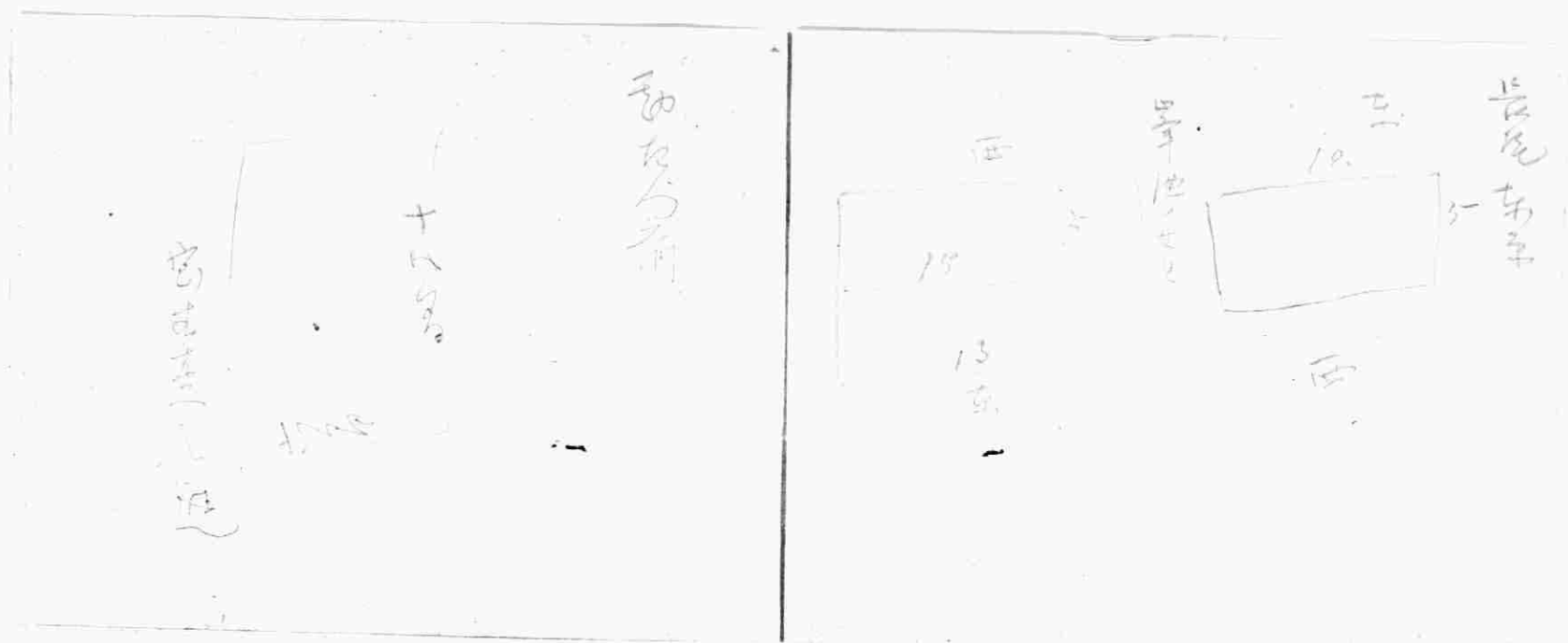
0277

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

149

2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



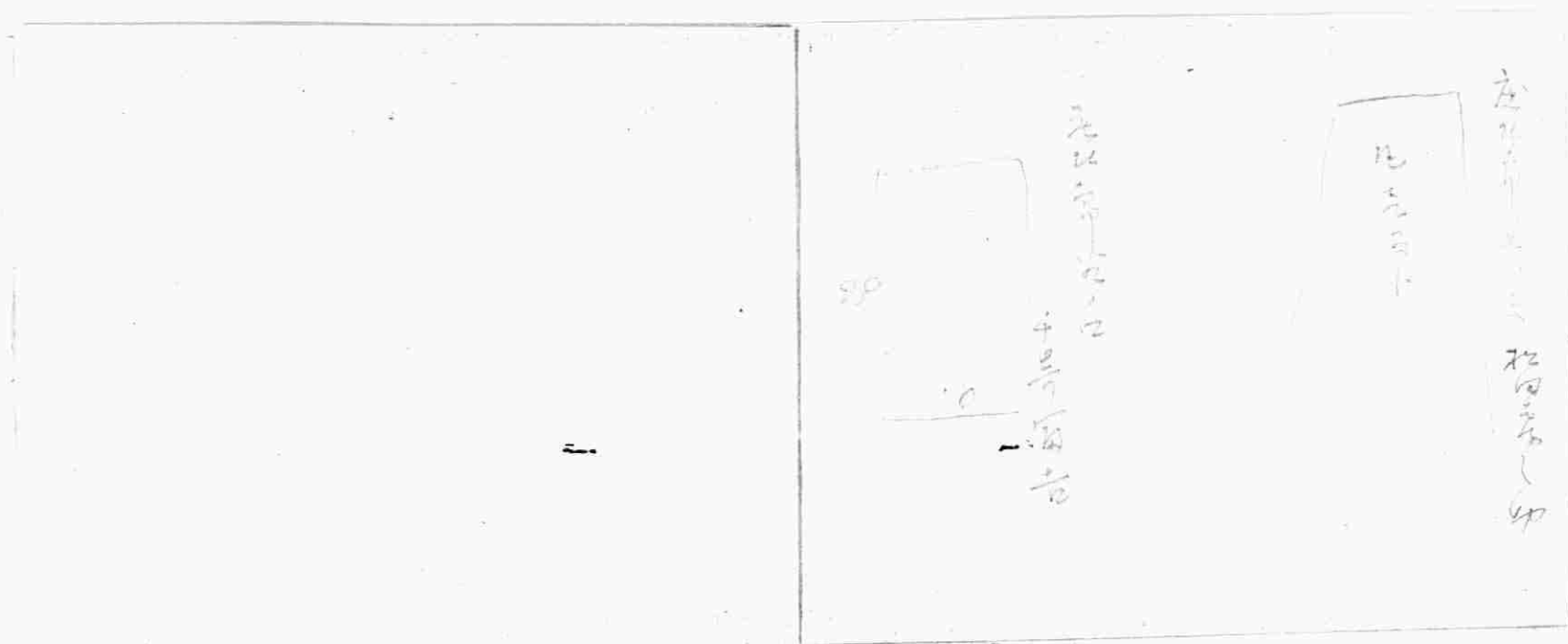
0278

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

149

2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20



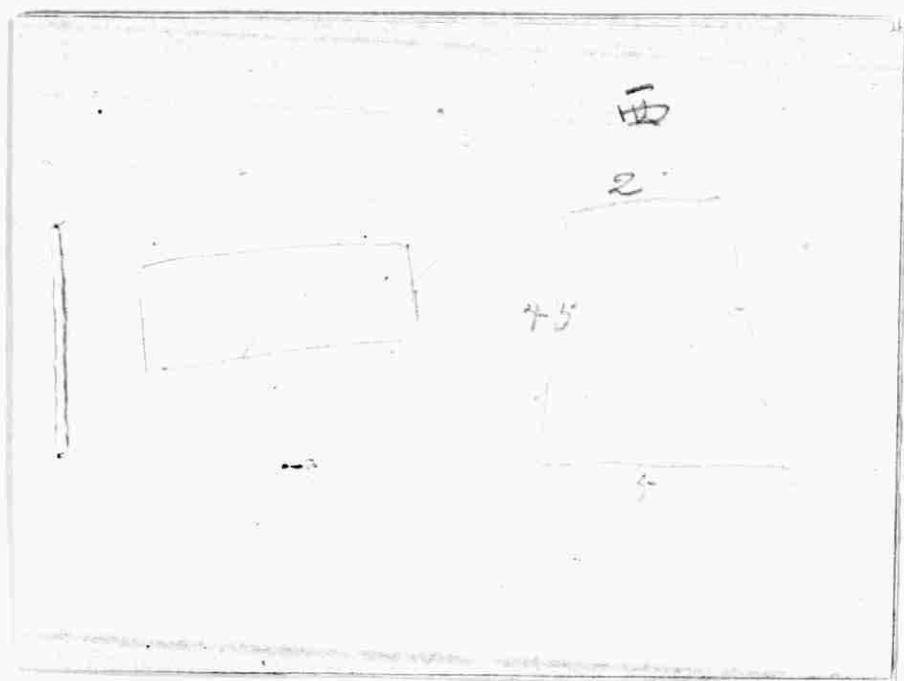
0279

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

149

2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



0280

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

149

2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1

名池、世々

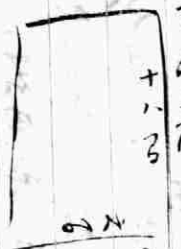


凡此及矣

五

三回

古學自應學及



宣和畫譜

唐氏帝孫，以午時一白土。

23

10

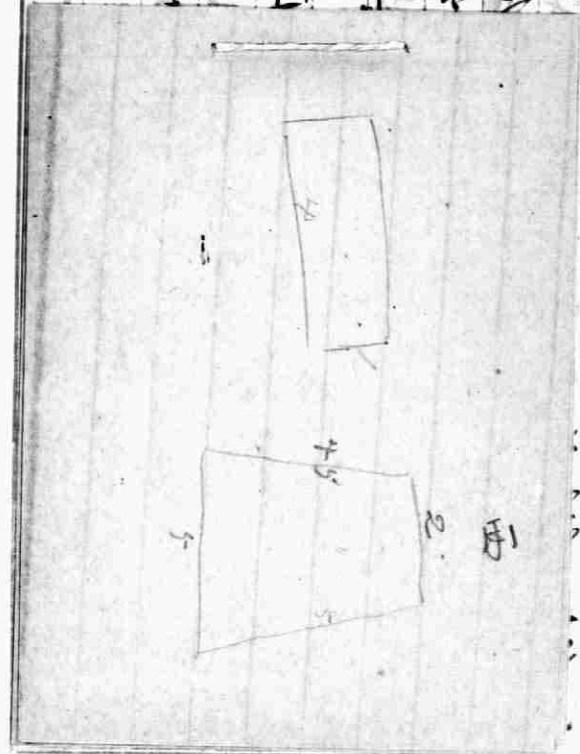
天下

子

八

ヲカリ細

七



九月廿五日

本村長四名、妻あり、大分村向、之令なし
其の中心、北東、南、西、地、高、多、低、分、別、あり
北、東、南、西、地、高、多、低、分、別、あり
北、東、南、西、地、高、多、低、分、別、あり
北、東、南、西、地、高、多、低、分、別、あり
北、東、南、西、地、高、多、低、分、別、あり

九月廿五日

本村長四名、妻あり、大分村向、之令なし

本村長四名、妻あり、大分村向、之令なし
其の中心、北東、南、西、地、高、多、低、分、別、あり
北、東、南、西、地、高、多、低、分、別、あり
北、東、南、西、地、高、多、低、分、別、あり
北、東、南、西、地、高、多、低、分、別、あり
北、東、南、西、地、高、多、低、分、別、あり

本村長四名、妻あり、大分村向、之令なし
其の中心、北東、南、西、地、高、多、低、分、別、あり
北、東、南、西、地、高、多、低、分、別、あり
北、東、南、西、地、高、多、低、分、別、あり
北、東、南、西、地、高、多、低、分、別、あり
北、東、南、西、地、高、多、低、分、別、あり

安楽川村文書 146

146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
630
631
632
633
634
635
636
637
638
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
670
671
672
673
674
675
676
677
678
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
690
691
692
693
694
695
696
697
698
699
700
701
702
703
704
705
706
707
708
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
750
751
752
753
754
755
756
757
758
759
760
761
762
763
764
765
766
767
768
769
770
771
772
773
774
775
776
777
778
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
800
801
802
803
804
805
806
807
808
809
810
811
812
813
814
815
816
817
818
819
820
821
822
823
824
825
826
827
828
829
830
831
832
833
834
835
836
837
838
839
840
841
842
843
844
845
846
847
848
849
850
851
852
853
854
855
856
857
858
859
860
861
862
863
864
865
866
867
868
869
870
871
872
873
874
875
876
877
878
879
880
881
882
883
884
885
886
887
888
889
890
891
892
893
894
895
896
897
898
899
900
901
902
903
904
905
906
907
908
909
910
911
912
913
914
915
916
917
918
919
920
921
922
923
924
925
926
927
928
929
930
931
932
933
934
935
936
937
938
939
940
941
942
943
944
945
946
947
948
949
950
951
952
953
954
955
956
957
958
959
960
961
962
963
964
965
966
967
968
969
970
971
972
973
974
975
976
977
978
979
980
981
982
983
984
985
986
987
988
989
990
991
992
993
994
995
996
997
998
999
1000

0284

安楽川村文書Ⅱ

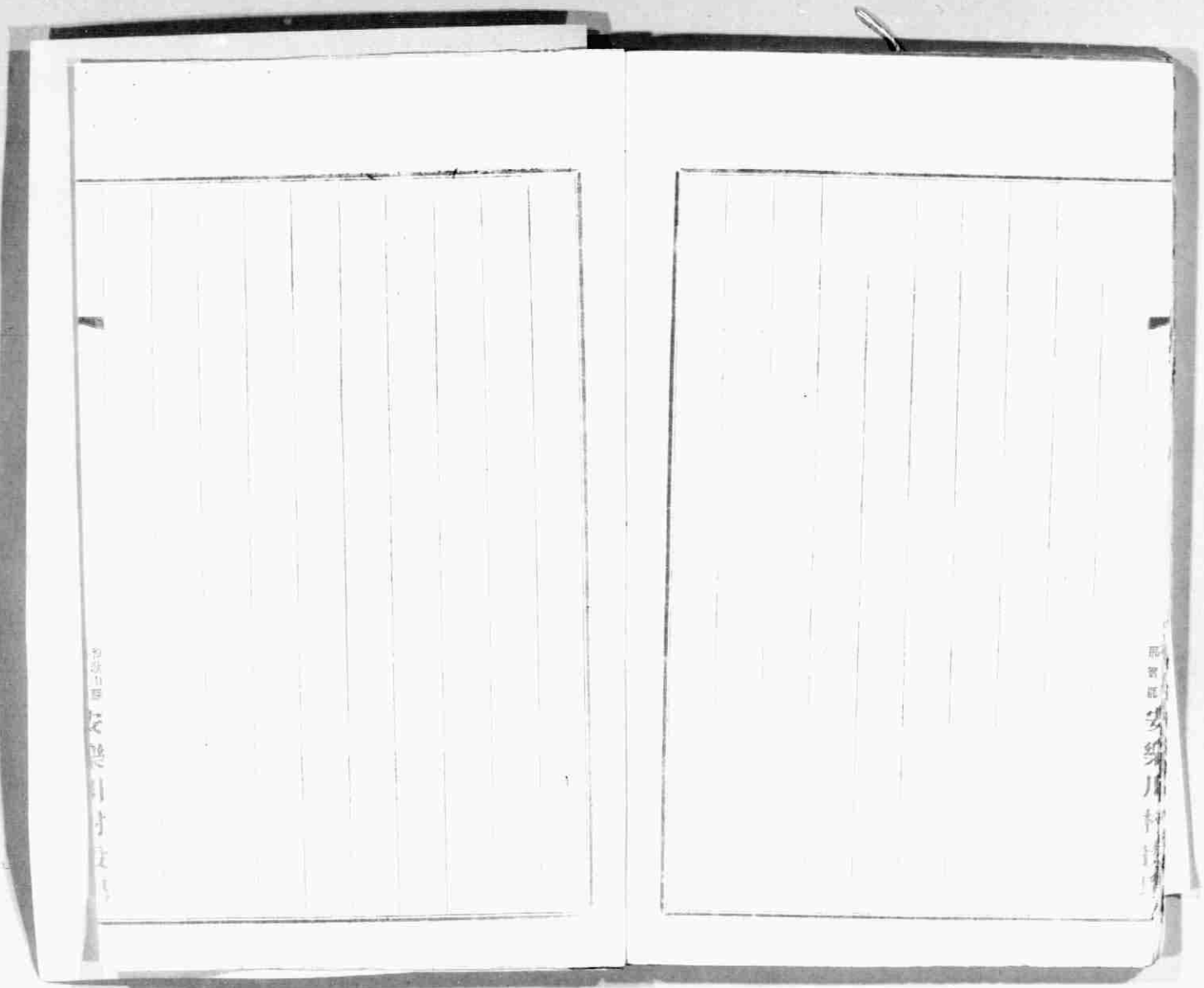
文書
番号

146

97 98 99 28m 2 3

以下 5 丁白紙

1/1 1/2 1/3 1/4 1/5 1/6 1/7 1/8 1/9 20 21 22 23



安楽川村文書

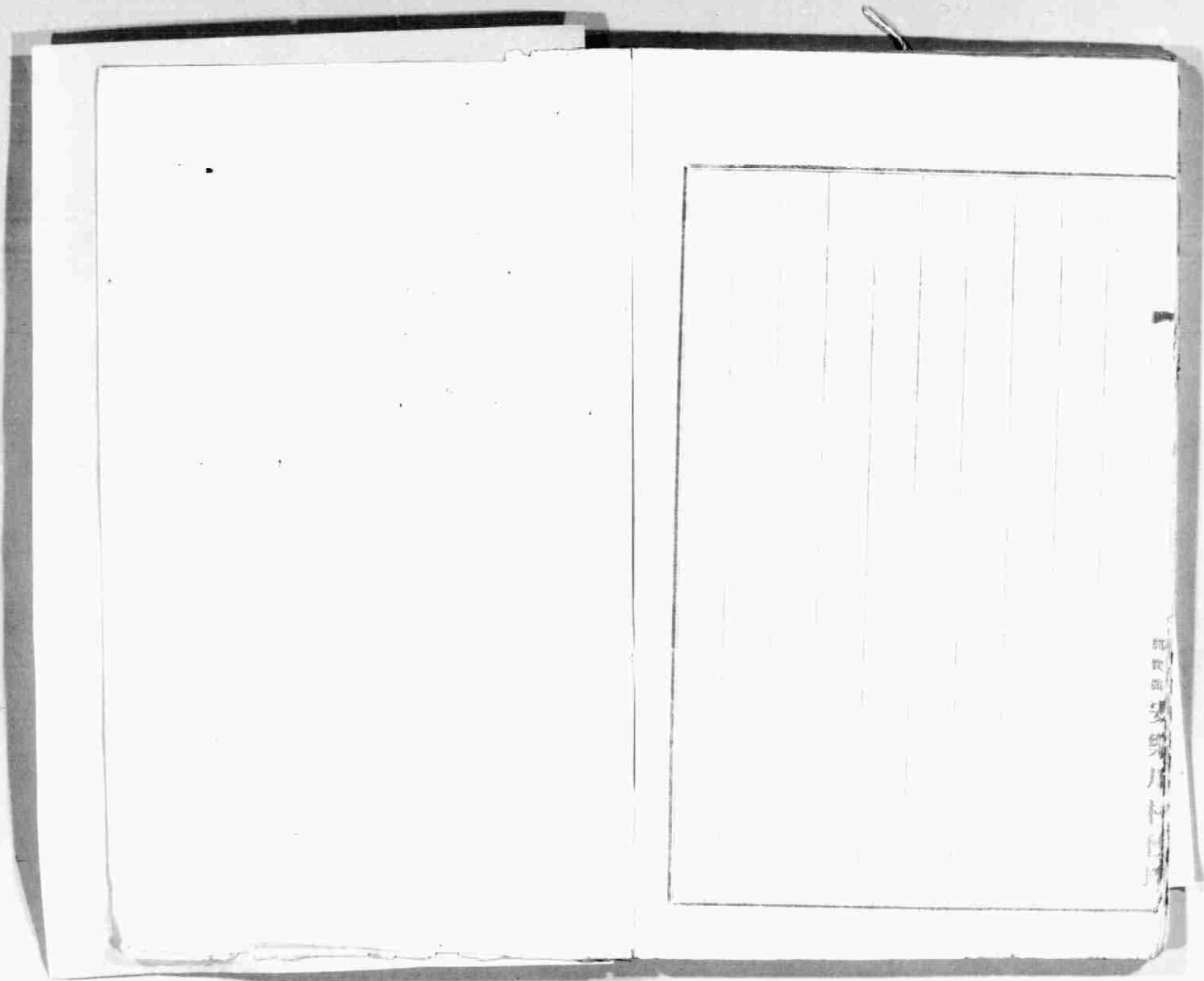
安楽川村文書

0285

安楽川村文書Ⅱ 文書番号

146



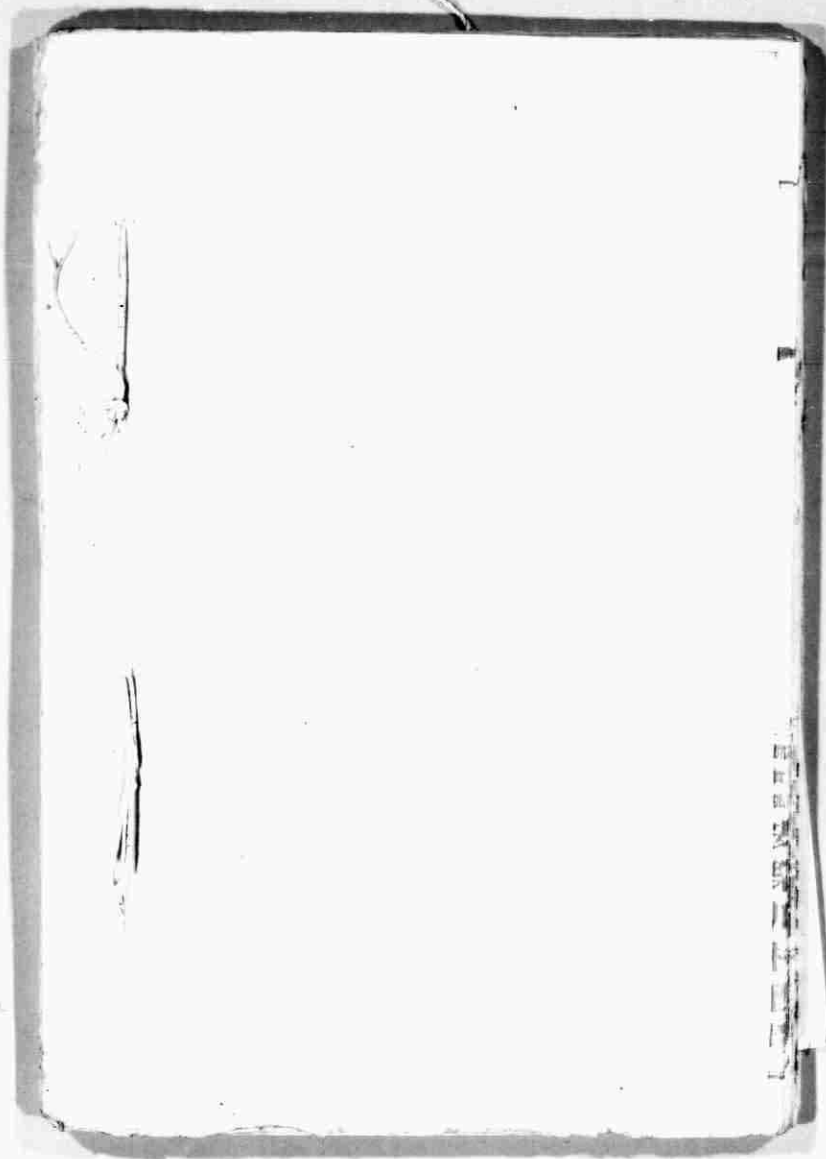


0286

安楽川村文書Ⅱ 文書号

146





0287

安楽川村文書Ⅱ 文書号

146

97 98 99 28m 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21